

國社黨八幡支部演説會狀況

一、日時 昭和七年七月十三日 自午後七時四十分 至十一時

二、會場 八幡市中央區旭座劇場

三、聴衆 約五五〇名

四、入場料 二拾錢（入場料高き爲會場迄車ながら入場せず
引き返したる者多し）

五、演説會の要旨

八幡支部執行委員 渡邊 龍徳

徒らに警備を亂打して斷着を煽動するものではない。
然し乍ら一大危機に直面したる資本主義日本を救ふもの
は國家統制經濟より外にない、即ち吾が黨は資本主義を
打倒し國家社會主義を樹立して以て日本の窮狀を打開す
る行動黨である。

(3)

八幡支部書記長 上田 文吉

一、若の下万民結合して資本主義機構打倒に向つて突進せよ
全國の失業者に對して資本財より十億圓出させて救済せよ
労働雇賃の全免、一切の借金の五年乃至十年間延期、等、
輿論の膠力に依つて貫徹せよ。

門司市會議員 高次 昇

フアツションの意味を承知して購いてゐる者は多い。吾黨を
フアツションと稱する者があるが夫れは認識不足である。吾等
は一若万民の國家精神に依つて進むものである。

八幡支部長代理 米村 長太郎

我は何故に國社黨に方向轉換をなしたか
夫れは十年間の闘争に依つて從來の無産運動が日本の實情
を無視した無産者闘争であり指導精神が誤つてゐたことを

(4)